

検証結果の概要

プロジェクト名

「諸塚村森林炭素吸収量活用プロジェクト」

検証実施機関	SGS ジャパン株式会社
検証報告書発行日	2010 年 3 月 3 日
検証意見の要約	<p>諸塚村森林炭素吸収量活用プロジェクトに対し、モニタリング報告書中の 2008 年 4 月 1 日から 2010 年 3 月 31 日までの期間の吸収量情報について、合意された検証範囲、目的及び基準に基づき、合意的保証を付与する水準にて検証を実施した。その結果、モニタリング報告書に記載された吸収量情報は、オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則、モニタリング方法ガイドライン Ver1.1（当プロジェクトのバリデーション時に有効であったガイドラインを使用。）、森林吸収源ポジティブリスト・方法論（R001・JRAM001）に基づいて作成されており、全ての重要な点に関し、適正であると認める。2008 年度及び 2009 年度の当プロジェクトの吸収量総計は、796 t CO₂ であることを確認した。検証チームは最終版のモニタリング報告書において、検証プロセスにて発見された誤りは全て修正され、未修正の誤りはないことを確認した。</p> <p>最終版のモニタリング報告書において修正されたデータに基づき算定された吸収量の不確実性は検証対象期間である 2008 年度及び 2009 年度について 2.8%であり、重要性の判断基準である 10%未満であることを確認した。</p> <p>本検証意見は、別添のモニタリング報告書に基づくものとして解釈されなければならない。</p>